



吉川友子後援会

2025(令和 7)年 1 月

あなたとわたし 友 & 愛

No 38

発行：吉川友子後援会
会長 伊藤盛久
会計 高塚紀之

幹事長 田村至
事務局長 横山晴子



ごあいさつ

大寒の候、みなさまにおかれましてはご健勝のこととお慶びを申し上げます。

日頃より、議会活動や地域活動において大変お世話になり、ありがとうございます。

この度、4月下旬の任期満了をもちまして、議員としての職務を修了し、一市民として地域活動などを続けていく所存です。

2013年に初当選してから12年間の議員活動をご支援いただいた皆さまへは、衷心より感謝申し上げます。今後とも、みなさまと一緒に住みやすい地域を目指して活動していきたいと考えております。

近年、さまざまな災害や紛争が頻発しており、人々が願っている「平和」が訪れる日はいつ来るのだろうかと思ってしまうこともありますが、私たち一人ひとりの目の前には、それぞれができることがたくさんあると考えます。

環境問題を学び、みんなで暮らしや行政のあり方を考え、行動することも私たちができることですし、周りの人に優しくすること、思いやることも、平和への一歩だと思います。それぞれの立場で一人一人が行動を起こすことこそ世界を変えるために必要なことだと信じています。

この12年間、みなさまからいただいた応援のお言葉やお気持ちは私の一生の宝です。これからも、佐久市議会や市政に関心を持ち、行動していく所存です。ご指導ご鞭撻いただけたら幸いです。

私たちの会派（みらいの風）で高校生と対話集会を開催

私たちの会派では、若者たちの意見を市政に反映させるために、どのようなことができるか考え、高校生との対話を行いました。今年度は野沢北高校と望月サテライト校の2校の生徒さんたちと対話を行いましたが、その中で進学のための奨学金について、使い勝手の改善や増額の要望など、具体的な内容もあり、会派内の議員より一般質問をしたり、会派からの要望として市へ提出いたしました。



(生徒さんたちは写真に写していない)



応接間のようにゆったりした教室
夜間中学も併設した多様化校の大阪心和中学校

大阪市立心和中学校で研修

夜間中学併設の個別最適な学びができる多様化校。今年度開校したばかりで、開校までのプロセスなども含めた視察ができました。それぞれに合った場所からの授業参加やくつろげる場所での自由時間、充実したカウンセリングなどがあり、大変勉強になりました。佐久地域でも軽井沢町に学びの多様化校を開校予定とのことで、どんな学校になるのか注目しています。

・大阪府泉大津市：コロナ後遺症・ワクチン後遺症支援プログラムを視察しました。西洋医学のみならず、整体やヨガ、呼吸法などの支援があり、症状が改善したという市民が一定数いるそうです。

廃校を利用した地域活動の拠点などを視察

7月17～19日の日程で、会派「みらいの風」の視察研修を行いました。

・東京都立川市たちかわ創造舎：廃校を利用して、地域活動の拠点やシェアオフィス、撮影などのレンタルスペースとして利用しており、校庭にも日々マレットゴルフなどを楽しむ地域の皆さんがいらっしやいました。

・広島県廿日市市大野学園：平成27年に小中一貫校となり、中一の壁の低さや専科教員の行き来などのメリットを学ぶことができました。

・広島県呉市吉浦中学校：校内中間教室「SSR（スペシャルサポートルーム）」の視察をしてきました。広島県では不登校対策として、推進校に校内フリースクールを設置し、専属のスタッフを配置しています。呉市では県の推進校以外でも専属のスタッフを配置している学校もあり、スクールソーシャルワーカーなどと連携をとり、不登校の未然防止に努めています。SSRへ通う生徒は、自分でそれぞれの時間をどこで過ごすか決めることができます。自己決定のできる過程や専属の先生の寄り添いにより卒業後、進学したり自立したりできる生徒が多いそうです。

吉川友子後援会 お礼と終わりの会

ご案内

これまでお支えいただいた皆さまと、12年間を振り返りご報告や感謝の気持ちをお伝えする会を開きたいと考えております。直前のご案内となってしまったことをご容赦ください。

日時：1月29日(水) 19:00～

場所：片倉公民館

吉川友子の一般質問

3月代表質問

1. 佐久市における子ども教育について

(吉川) 教育委員会では、今の世の中の社会情勢と子ども達の自主性の必要性についてどう考えていますか。

(教育長) 今後の日本の社会は、不確実で複雑な社会となると予想され、好奇心を持って変化に柔軟に向き合う生き方が求められるため、自主性、主体性を重視してまいります。

(吉川) 中学校の校則の見直しについても子どもたちの自主性を尊重してもらいたいと考えますが、佐久市の中学校ではどのように対応しているのでしょうか？

(教育長) 校則の見直しを検討する際、「児童生徒の意見を聴取する機会を設けたら、児童会、生徒会等の場において、校則について確認したり、議論したりする機会を設けることが考えられます。」

(吉川) 佐久市での児童数は年々減っている一方で不登校数はここ数年30〜40人ずつ増えています。フリースクールなどの連携が重要かと考えますが、教育委員会としてはどのような連携をとっているのでしょうか？

(学校教育部長) 佐久市の不登校等対策連絡協議会にフリースクール佐久の代表の方にも委員として参画いただき、市の施策や取り組みについてご意見をいただいています。

(吉川) 長野県のフリースクール認証制度も始まるので、ぜひ連携をとって、児童生徒にもフリースクールという選択があることを知ってもらいたいと思います。

(学校教育部長) フリースクール佐久では現在3名の子どものさんが出席扱いになっています。

2. 地域の特徴を活かした均衡ある発展を

(吉川) この20年で佐久平駅周辺は人口増加が続き、周辺部では少子高齢化が進んできています。佐久平駅周辺と周辺部や中

山間地におけるそれぞれの課題について、どう考えかお聞きします。

(企画部長) 浅間地区は人口が増え、周辺部は減少しています。議員ご指摘のとおり、人口が増加している佐久平周辺地域と人口が減少している中山間地域では全く別の課題があると認識しています。

(吉川) 今後はそれぞれの地域の住民が「暮らしていてよかった」と思えるような取り組みが必要だと考えます。周辺部では空き家や耕作放棄地も増え、鳥獣被害は農作物のみならず、山にも出てきています。こうした課題は、周辺部だけの問題ではなく、災害や水質の変化などに影響していくことが考えられるため、佐久市全体の課題だと考えます。

(市長) 私は本市の今ある卓越性、最も秀でた特徴である暮らしやすさにさらに磨きをかけていくことがこれからの街づくりにとって重要であり、目指すべき方向であると考えています。中心拠点への機能の集約と中心拠点と居住地域を結び、各種ネットワークの整備等による、機能集約ネットワーク型街づくりに取り組んでいるところです。

3. 令和6年度予算について

(1) 気候非常事態宣言に基づく環境施策

(吉川) 佐久市は2020年に議会と共に気候非常事態宣言を行いました。脱炭素に向けた進捗状況と来年度の取り組みについてお聞きします。

(環境部長) LED照明や省エネ性能の高い冷蔵庫の買い替えに対する補助を実施してまいります。また、エアコンに対する買い替え補助の新設や中小企業を対象としたLED照明や空調設備などの省エネ設備の更新等に対する助成を新設することで省エネ化をさらに推進してまいります。

(2) 少子化対策施策

(吉川) 少子化対策は、子育て環境を整えるということが自治体の役割かと思えます。

(福祉部長) 少子化対策として、

①子ども計画策定事業。

②育児退園廃止。保護者の方が育児休業を取得すると、保育施設に通う児童が退園となる、いわゆる育児退園制度については、佐久市保育園保護者会連合会の皆さまや吉川議員をはじめ多くの皆さまから廃止の要望いただいております。市としては子育て環境の更なる充実を図るため、令和6年度より廃止します。

③保育士処遇改善確保事業。

(吉川) 育児退園制度廃止については昨年の代表質問から1年で実施に至ったというところで大変ありがたく、評価します。

(3) ゆづき産地への有害鳥獣対策

(吉川) 望月地区において、ゆづき産地づくりをしていきたいという説明を受けていますが、具体的な内容で目指す方向についてお聞きします。

そして、農業振興と同時に取り組んでいかなければいけないのが鳥獣被害対策です。シカやサル被害も多いです。今後の対策についてお聞きします。

(経済部長) 令和6年度からは、今まで以上にシカの駆除対策を強化していきたいと考えています。駆除頭数を現在より年間600頭増やすこと、また新たに、「C」を活用した困いワナによるシカ捕獲事業や広域で連携した取り組みなどを実施したいと考えています。

二ホンザル対策ですが、本年1月末に望月地区の協西で大量の二ホンザルが確認されたことに伴って、地元の方からも相談がありました。今後については、効果があると言われている柵の試験的設置や、サル対策に成功している自治体の取り組みを参考に、市と地域の皆様とで連携・協力しながら対策を講じてまいります。

(吉川) 有機農業振興策の一つとして、学校給食との連携が注目されており、国でも様々な支援を始めています。ぜひ、有機農業の出口戦略として学校給食での利用を

推進していくことを要望します。

(4) 香坂山遺跡の国史跡指定申請

(吉川) 先日は、香坂山遺跡に関する講義に参加させていただき、大変有意義な時間でした。日本最古の石刃が佐久市内で発見されたということで、今後国史跡指定申請における課題などお聞きします。

(社会教育部長) 2月10日開催の文化財フォーラムには、吉川議員にもお聞きいただきましたが、市内外から150名を超えるたくさんの方が来場され、香坂山遺跡が全国から注目されている遺跡であることを再確認しました。申請においての課題は、地権者(2者)の同意や総括報告書の作成期間に多くの時間が要することが考えられます。

9月議会への

佐久市における希少動植物について

1. 緑の環境調査について

(吉川) 佐久市では多様な生物が生息することを重要視して、環境政策や計画を立てていますが、今回は希少な動植物がどのような扱いになっているのかお聞きします。

(環境部長) これまでに蓄積された調査結果については市内の動植物の生態生育環境の基礎資料として自然観察会の実施や特定外来生物の駆除活動等に活用しています。

2. 春日温泉活性化基本構想について

(吉川) このたび、春日温泉活性化基本構想が発表されました。春日温泉を佐久市のコアな観光地として活性化していく計画が示されましたが、「もちづき荘」改築などについてお聞きします。

(経済部長) もちづき荘は令和9年度から10年度の2カ年をかけて改修を行う予定としております。単独の加熱設備を整備したのち、加熱センターの機能は廃止する方針で進めていきたいと考えています。

12月議会への

不登校対策について

チャレンジ教室の増設

(吉川) 3月議会でも質問しましたが、不登校児童生徒数は令和5年度全国で34万6482人、長野県では700人と、全国的にも増加傾向にあります。佐久市でも例外でなく、350弱と前年度の288人にくらへ2割ほど増えているということで、全国、長野県と同じく過去最高となっています。

(学校教育部長) 将来解体が予定されている旧浅科会館の近くの公共施設へサテライト教室を設置する方向で現在検討を進めています。

ゆづき産地への構想推進事業

(吉川) 3月の代表質問の際に計画をお聞きしましたが、今年度中のオーガニックビレッジ宣言を目指して、有機農業者、流通業者、消費者により有機農業実施計画を立ていく、ワークショップなどを行いながら地域の合意形成を図り、ゆづき産地づくりを行っていく、との答弁でした。現在の進捗状況をお聞きします。

(経済部長) 令和6年度については、有機農業に興味がある方に対する研修の場として、有機農業のモデルほ場を望月地域で4か所設置し、9月に有機農業のほ場見学ツアーを開催しました。13名の方に参加いただき、有機農業に対する理解を深めていただきました。

女性活躍の推進

(吉川) 令和6年度の佐久市における女性管理職の割合についてお聞きします。また、女性管理職の割合増加に向けての取り組みを伺います。

(総務部長) 女性管理職の割合ですが、令和6年4月1日時点での浅間総合病院を含む課長級以上の管理職員は97人おり、そのうち女性職員は13人で女性管理職の割合は13%となっています。

(吉川) 来年度目標の25%にはまだ遠いと感じます。佐久市役所が女性にとっても男性にとっても働きやすい職場であってほしいですし、性別に関わらず住みやすい佐久市になってほしいと願います。